

スピーチメモ

スピーチの目的

スピーチをする目的を全体で以下のように確認し合いました。特に、聞き手が学級の友人であることを確認しました。ここでは、目的意識と相手意識を明確に持たせようと考えました。

教室で、みんなに対等の立場で、自分の言いたいこと、思い、考えを伝える。

聞き手の期待

聞き手はどんな話を期待しているかを出し合いました。以下のようなものが出されました。

○ 楽しい話 ○ 分かりやすい話 ○ 納得する話 ○ 感動する話 ○ 心に残る話

マッピングによる絞り込みとスピーチメモ

マッピング法により話題を選び、絞り込んでいきました。スピーチメモには、スピーチタイトルを書かせました。文章で書くのは、効果的な出だしを工夫するためのはじめの部分と、自分の伝えたいことに深く関係するであろうむすびの部分だけに限定しました。あとは、原稿の形では書かないようにさせました。以下が、スピーチメモの例です。

〈スピーチタイトル〉

転校して分かった別れ・出会い

〈はじめ〉

友達との別れ、出会いを経験したのは、「転校」という出来事でした。

〈メモ〉

- ① 「転校」と聞いて、とても心細い。
- ② せっかくできた友達と離れるなんてつらい。
- ③ 他の学校で友達ができるか不安。
- ④ 考え方を変わると新しいことをするという事。
- ⑤ ○○小に転校していてもみんな優しく声をかけてくれた。
- ⑥ 友達ができ毎日楽しい。
- ⑦ 転校することによって友達の数が増えたということは、よい体験。
- ⑧ それから、前の学校の友達からときどき手紙がくる。

〈むすび〉

もし、転校して友達が一人もできなかつたら、きっと私はつらく悲しい小学校生活を送っていたと思います。けれども、友達がいてくれたからこそ、楽しい小学校生活という思い出をつくることができました。